Deep メールと Outlook メールの併用利用する(現在 Outlook 2016/2019 利用中 編)

2022/6/28 時点

1. 「ファイル」を選択します。



2. 「アカウント設定」から「アカウント設定」を選択します。



3. Deep メールと Outlook のフォルダーがわからなくなってしまうので、アカウント名を変更します。 Deep メールを設定しているアカウントを選択し、「変更」をクリックします。

アカウント設定	
電子メール アカウント アカウントを追加または削除できます。また、	アカウントとユヸリていてその設定を変更できます。
電子メール データファイル RSS フィード Sha	areP インターネット予定表 公開予定表 アドレス帳
🧟 新規(N) 🎌 修復(R) 🚰 変更(A	A) ⊘ 既定に設定(D) 🗙 削除(M) 🔹 🗣
名前	種類
🔗 toshi@tcu.ac.jp	IMAP/SMTP (送信で使用する既定のアカウント)

4. 「詳細設定」ボタンをクリックします。

ユーザー情報		アカウント設定のテスト
名前(Y):	都市大 太郎	アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧め
電子メール アドレス(E):	toshi@tcu.ac.jp	0670
サーバー情報		アカウント設定のテスト(T)
アカウントの種類(A):	IMAP	
受信メール サーバー(I):	mail.tcu.ac.jp	└(S)
送信メール サーバー (SMTP)(O):	smtp.tcu.ac.jp	
メール サーバーへのログオン情報		
アカウント名(U):	toshi@tcu.ac.jp	
ペスワード(P):	****	
<u> パ</u> ス	ワードを保存する(R)	
メール サーバーがセキュリティで保 ている場合には、チェック ボックスを	!護されたパスワード認証 (SPA) に対応し をオンにしてください(Q)	

メールアカウント名の欄にわかりやすい名称に変更します。その後、「OK」ボタンクリックします。
 (例:DeepMail アカウントという名前にしました)

インターネット電子メール設定	e X
全般 送信サーバー	詳細設定
メール アカウント	
このアカウントを表す名i ど)(N)	前を入力してください ("仕事"、"Microsoft Mail サーバー" な
DeepMail アカウント	
その他のユーザー情報 ―	
組織(O):	
返信電子メール(R):	
	OK キャンセル

6. 「次へ」ボタンをクリックします。

レーザー情報		アカウント設定のテスト
名前(Y):	都市大 太郎	アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧め
電子メール アドレス(E):	toshi@tcu.ac.jp	089.
ーバー情報		アカウント設定のテスト(T)
7カウントの種類(A):	IMAP V	
そ信メール サーバー(I):	mail.tcu.ac.jp	○ [L(ハハ] でクリックしにちア ガワンド設定で自動的にすスト9る (S)
き信メール サーバー (SMTP)(O):	smtp.tcu.ac.jp	
ヘール サーバーへのログオン情報		
"カウント名(U):	toshi@tcu.ac.jp	
ペスワード(P):	****	オノラインにしておくメール: すべて
ロパス	ワードを保存する(R)	ter a ser a ser a ser a ser a t
コメール サーバーがセキュリティアタ	Ri#さわたパフロード評評 (SDA) に対け	51,

7. パスワード入力する画面が表示されたら、TCUアカウントのパスワードを入力します。 テストアカウント設定で問題なくテストを完了したら、「閉じる」ボタンをクリックします。

テスト アカウント設定		$\mathbf{\wedge}$	
すべてのテストが完了しました。[閉じる] をクリックして続	行してください。		中止(S)
			閉じる(C)
タスク エラー			
920	状況		
✓ 受信メール サーバー (IMAP) へのログオン	完了		
	763		

8. アカウント変更画面ですべて完了したら「完了」ボタンをクリックします。



9. いよいよ outlook メールの設定です。「新規」ボタンをクリックします。

アカウント設定	
電子メール アカウント アカウントを追加または削除できます。また、アカウントを選択してその設定を変更でき	₹ 7 .
電子メール データ RSS フィード SharePoint リスト インターネット予定表	公開予定表 アドレス帳
☆ 新規(N)… ※ 修復(R)… 曾 変更(A)… ※ 既定に設定(D) ※ 削除(N)	1) 🛨 🖶
名前	
SeepMail アカウント IMAP/SMTP (;	送信で使用する既定のアカウント)

10. 「自分で電子メールやその他のサービス・・・」を選択し「次へ」ボタンをクリックします。

プロウントの追加 自動アカウント セットアップ アカウントを手動で設定する	^、または他の種類のサーバーに接続します。	***
〇 電子メール アカウント(A)		
名前(Y):	/@l- Eili Vasuda	
電子メール アドレス(E):	例: elji@contoso.com	
パスワード(P): パスワードの確認入力(T):		
	インターネット サービス プロバイダーから提供されたパスワードを入力	ルてください。
◎ 自分で電子メールやその他の	サービスを使うための設定をする (手動設定)(M)	
		< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

11. 「POP または IMAP」を選択後、「次へ」ボタンをクリックします。

アカウントの追加	>
サービスの選択	×.
 Outlook.com または Exchange ActiveSync と互換性のあるサービス(A) Outlook.com などのサービスに接続し、電子メール、予定表、連絡先、タスクにアクセスします 	
 POP または IMAP(P) POP または IMAP 電子メール アカウントに接続します 	
	4
< 戻(6) 7	Rへ(N) > キャンセル

12. 以下の表示がされたら、ユーザー情報からメールサーバーへのログオン情報を記入します。 記入後「詳細設定」ボタンをクリックします。

名前(<u>Y</u>):		フカウントをニフトレナー3 市内の状元し いわじられた政府オママトもももの
	DE TRA STANDAR	アカワノトでナストレビ、人ノリ内谷が止しいかとつかで雑誌9ることでお勧め します。
電子メール アドレス(<u>E</u>):	toshi@tcu.ac.jp	08.9*
サーバー情報		アカウント設定のテスト(工)
アカウントの種類(<u>A</u>):	IMAP	/ 「ウム」を加いた たっつう、よび字を自動的にニフトオス
受信メール サーバー(<u>I</u>):	outlook.office365.com	 (S)
送信メール サーバー (SMTF	아(이): smtp.office365.com	
メール サーバーへのログオン	情報	
アカウント名(<u>U</u>):	toshi@tcu.ac.jp	
パスワード(<u>P</u>):		
E	パスワードを保存する(<u>R</u>)	
		_

なお、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定は以下のとおりです

- 受信メールサーバー「outlook.office365.com」
- 送信メールサーバー「smtp.office365.com」

- 13. インターネット電子メール設定の画面が表示されたら、「詳細」タブを選択します。
 - 受信サーバー ポート「993」 暗号化接続の種類「SSL」
 - 送信サーバー ポート「587」 暗号化接続の種類「TLS」

インターネット電子メール設定 ×
全般 送信サーバー 詳細設定
サーバーのポート番号
受信サーバー (IMAP)(I): 993 標準設定(D)
使用する暗号化接続の種類(E): SSL 🗸
送信サーバー (SMTP)(O): 587
使用する暗号化接続の種類(C): TLS 🗸
サーバーのタイムアウト(T)
短い • 長い 1分
ノオルダー
」 ○ 「送信済みアイテムのコピーを保存しない(D)
削除済みアイテム
アイテムを削除対象としてマークするが、自動的には移動しない(K) 削除対象としてマークされたアイテムは、メールボックス内のアイテムが消去されたときに完全に削除されます。
☑ オンライン中にフォルダーを切り替えたらアイテムを消去する(P)
OK キャンセル

14. 次に「送信サーバー」のタブを選択します。下記のようにチェックを入れ、「受信メールサーバーと 同じ設定を使用する」を選択します。最後に「OK」ボタンをクリックします。

	T		×
み 送信サーバー	詳細設定	M	
送信サーバー (SMT	TP) は認証が必要(0)	
◉ 受信メール サー	バーと同じ設定を使	用する(U)	
〇次のパのパート	パスワートでロクオンタ	9-6(L)	
アカウント名(N)):		
パスワード(P):			
	🗹 パスワードを住	呆存する(R)	
_ セキュリティで	で保護されたパスワー	ド認証 (SPA) に対応(Q)	
	 マーネット電子メール部 登信サーバー(SMT) ● 受信メールサー ○ 次のアカワンド名(N) パスワード(P): □ セキュリティT 		 タ 送信サーバー 詳細設定 送信サーバー (SMTP) は認証が必要(O) ③ 受信メール サーバーと同じ設定を使用する(U) ○ 水のアガワンドとパスワードにログオンタる(L) アカウンド名(N): パスワード(P): ○ パスワードを保存する(R) □ セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応(Q)

15. 「次へ」ボタンをクリックします。

ユーザー情報		アカウント設定のテスト
名前(Y):	都市大 太郎	アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧め
電子メール アドレス(<u>E</u>):	toshi@tcu.ac.jp	049.
サーバー情報		アカウント設定のテスト(工)
アカウントの種類(<u>A</u>):	IMAP	「「「なぇ」 たんしん ちゃっちらいたい 字を自動的 ニュットオス
受信メール サーバー(<u>I</u>):	outlook.office365.com	 ○ [ハハ] セワリックした5ア カワンド設定を自動加速にデスドッ る (S)
送信メール サーバー (SMTP)(<u>O</u>):	smtp.office365.com	
メール サーバーへのログオン情報		
アカウント名(旦):	toshi@tcu.ac.jp	
パスワード(<u>P</u>):		オフラインにしておくメール: タベに
☑パス	フードを保存する(<u>R</u>)	a de la companya de l
コメール サーバーがセキュリティで保	護されたパスワード認証 (SPA) に対応し	

16. テストアカウント設定が表示され、完了したら「閉じる」ボタンをクリックします。

テスト アカウント設定]
すべてのテストが完了しました。[閉じる] をクリックして続	行してください。	中止(S) 閉じる(C)	
977 ID-			
タスク	状況		
 ✓ 受信メール サーバー (IMAP) へのログオン ✓ テスト電子メール メッセージの送信 	完了 完了		

17. アカウントの追加の画面で完了したら「完了」ボタンをクリックします。

アカウントの追加	
すべて完了しました	
アカウントのセットアップに必要な情報がすべて入力されました。	
	別のアカウントの追加(A)
	< 戻る(B) 完了

18. 現在、メインは DeepMail になっているので、ディフォルト設定を Outlook メールに変更します。 「ファイル」を選択します。



19. 「アカウント設定」から「アカウント設定」を選択します。



20. 今回設定した Microsoft Exchange を選択して「既定に設定」ボタンをクリックします。

アカウント設定	>
電子メール アカウント アカウントを追加または削除できます。また、アカウントを選択してその設定を変更できます。	
電子メール データファイル RSS フィード SharePoint リスト インターネットアング	
🧐 新規(N) 🎌 修復(R) 🚰 変更(A) 💇 既定に設定(D) 🗙 削除(M) 🔹 ♣	
名前 種類	
◆ <u>DeepMail アカウント</u> IMAP/SMTP (送信で使用する既定のアカウント) IMAP/SMTP	

21. 今回設定した Microsoft Exchange が上位に上がり、既定のアカウントになっていることが確認できたら「閉じる」ボタンをクリックし閉じます。